

「キリストにある」祝福 — エペソ1:1-14

1:1 神のみこころによるキリスト・イエスの使徒パウロから、キリスト・イエスにある忠実なエペソの聖徒たちへ。1:2 私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安があなたがたの上にありますように。1:3 私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。神はキリストにあって、天にあるすべての霊的祝福をもって私たちに祝福してくださいました。1:4 すなわち、神は私たちが世界の基の置かれる前から彼にあって選び、御前で聖く、傷のない者にしようとされました。1:5 神は、みむねとみこころのままに、私たちがイエス・キリストによってご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ定めておられました。1:6 それは、神がその愛する方にあって私たちに与えてくださった恵みの栄光が、ほめたたえられるためです。1:7 この方にあって私たちは、その血による贖い、罪の赦しを受けています。これは神の豊かな恵みによることです。1:8 この恵みを、神は私たちの上にあふれさせ、あらゆる知恵と思慮深さをもって、1:9 みこころの奥義を私たちに知らせてくださいました。それは、この方にあって神があらかじめお立てになったみむねによることであり、1:10 時がついに満ちて、実現します。いっさいのものがキリストにあって、天にあるもの地にあるものがこの方にあって、一つに集められるのです。1:11 この方にあって私たちは御国を受け継ぐ者ともなりました。みこころによりご計画のままをみな行う方の目的に従って、私たちはあらかじめこのように定められていたのです。1:12 それは、前からキリストに望みを置いていた私たちが、神の栄光をほめたたえるためです。1:13 この方にあってあなたがたもまた、真理のことば、あなたがたの救いの福音を聞き、またそれを信じたことにより、約束の聖霊をもって証印を押されました。1:14 聖霊は私たちが御国を受け継ぐことの保証です。これは神の民の贖いのためであり、神の栄光がほめたたえられるためです。

導入

今朝、聖餐式に与る前に、皆さんに思い起こしていただきたいことがあります。それは、イエス・キリストの死と復活をとおして私たちが得た大きな祝福についてです。

人は、「キリストにある人」と「キリストにない人」のどちらかに分けられます。「キリストにある人」なら、すでに祝福を受けており、聖餐式は、イエス・キリストが与えてくださった豊かな祝福の数々に思いをめぐらすすばらしいひとときとなります。一方、「キリストにない人」は、その一歩を踏み出す邪魔をしているものは何か、それは先ほどの聖書個所に記された祝福以上の価値があるのかを考える必要があります。

今日のみことばには、3つの祝福が記されています。

父なる神からの祝福、子なる神からの祝福、そして聖霊なる神からの祝福です。

1. 父なる神からの祝福 (1-6節)a) 神が私たちを選んでくださった。(3-4節)

クリスチャンの私たちは、世界の基の置かれる前から神がを選んでくださいました。これはなんともすばらしい事実です。この神秘を説明することはできません。ただ、神がご自身の主権をもって私たちを選んでくださったことを感謝するのみです。

b) 神が私たちをご自分の子にしてくださいました。(5節)

人はクリスチャンになると、イエス・キリストのおかげで神の子とされます。

神の家族の一員として息子や娘の権利や特権をすべて受けます。私の長男のアンドリューは妻のルースとの間にふたり養子がいます。

ふたりにとって、子どもができないという事実を受け入れるのはつらいことでした。

当初、私は息子の養子たちを孫だとなかなか思えませんでした。

けれども、自分自身が神の家族に迎え入れられた言わば養子であることを思い、まもなく彼らを自分の孫だと思えるようになりました。私は神の家族に迎え入れられるという特権に与りました。このふたりの孫たちは、クリスチャン家庭に迎え入れられるという特権に与りました。

独身の人も、子どものいない人も、私たちは皆、「養子たち」がたくさんいる大家族の一員になるという特権をいただいています。

c) 神は私たちを受け入れてくださった。(6節)

ありのままの私たちは罪人で、神に受け入れていただける者ではありません。けれども、私たちは、イエス・キリストの犠牲をとおして、受け入れられる者とされたのです。

受け入れてもらえないというのはつらいものです。黒人の人たちは長い間、肌の色を理由に受け入れられないという経験をしてきました。障害があることで、受け入れてもらえないこともあります。誰かに拒絶されたり、受け入れてもらえなかったりという体験をそれぞれの人がしているでしょう。しかし、今朝、喜ぶべきことがひとつあります。それは、私たちが「キリストにある」なら、神が私たちを拒まれることはないという事実です。

2. 子なる神からの祝福 (7-12節)

a) 神は私たちを贖われた。(7節)

イエスは十字架上で死なれ、罪の奴隷であった私たちを買い取ってくださいました。

「贖い」という単語は買い戻すという意味です。私たちの命を神が尊んでくださったので、それを救うためにこの上ない値を払ってくださいました。イエスの死が私たちを罪の奴隷の身分から解放してくれました。ウェスレーの古い賛美歌は、この贖いを描きます。そこには、「縄目は解け去り 自由の身となりぬ 立ちてぞ主イエスの御跡に従がわん」とあります。

b) 神は私たちを赦してくださった。(7節)

罪を指すギリシャ語の単語は、「的を外す」という意味です。神の的とは完全なきよさです。正直言って私たち人間は、神の御目に完全にきよいとは言えません。ですから、きよさという神の的を外したことを赦していただく必要があります。私たちは、きよくしてくださるお方、イエス・キリストをとおして赦しを受けます。

c) 神は私たちを相続者とされ、相続を与えてくださった。(11-12節)

相続とは、大切に思う相手に財産を贈り物として譲ることです。遺言を残してその人が亡くなった場合、贈与されるものが相続財産と呼ばれます。イエス・キリストが死なれたことで、このお方を信じる人はすばらしい相続を受け継ぎます。最大の祝福は将来いただきます。それは、いつか天で新しいからだをいただき、天国に住まうことです。

同時に、私たち自身がイエス・キリストの相続財産です。私たち教会は、キリストのからだ、神の神殿、キリストの花嫁と言われます。私たちは言わば、イエスがなされた業や犠牲に対する神からのお返しの贈り物なのです。

3. 聖霊なる神からの祝福 (13-14節)

a) 神が私たちに証印を押された。(13-14節)

つまり、神が私たちの所有者であり、私たちを守ってくださるお方です。私たちに押された神の証印を破ることは誰にもできません。ですから、私たちは永遠の安心をいただいています。

災害やテロ、貧困、消費社会などといった不安定な世の中で、私たちは霊的な活力を得ることができます。それは、聖霊という証印を神から押され、神が面倒を見てくださるという確信があるからです。

ハレルヤ。すばらしい救い主をたたえます。